れんごう 愛媛

JTUC-EHIME

ゆとり豊かさ社会的公正
生活者重視社会の実現

Facebook いいねしてね！

No290 2018. 10. 10

平成2年5月10日　第三種郵便物認可
定価／1部50円（組合員の購買料は会費に含む）
定日／毎月1回10日発行

日本労働組合総連合会
愛媛県連合会（連合愛媛）

〒790-0066 松山市宮田町132（勤労会館内）
TEL 089-941-0500
FAX 089-947-8010
発行人 弓 立 浩 二
編集人 安 藤 伸 子

連合愛媛2018ユースフォーラムを開催
講義＆体験＆防災センター見学

９月１日（土）に松山市内において、「連合愛媛2018ユースフォーラム」を開催しました。本フォーラムは青年・女性委員会で企画・立案した「各組織間の交流やネットワーク構築」等を行ない、今後の組合活動へ活かすことを目的に実施しました。

今回は、開催日の９月１日が「防災の日」であり、先の「平成30年７月豪雨」では県内でも甚大な被害が発生したことを受け、『防災』をテーマに開催しました。

まず、防災学習会として第一部では、四国労働金庫二番町ビルにて、松山市総合政策部危機管理課小原友弘 災害対策指導監をお迎えし、風水害に対する備えの基本や心構え等さまざまな観点からの自衛手段についてご講演いただきました。その後、参加者から、日頃の疑問や質問が出され、忌憚のない意見交換を行いました。

気象情報等を活用し、早めの備えを！

住民の「知る努力」（気象庁のホームページやデータ放送等のツールを活用して気象情報等を確認する）と**行政の「知らせる努力」**の二つの努力が重要。

講演に耳を傾ける参加者

質問する参加者

第二部では、松山市防災センターに場所を移し、松山市防災センターの菅谷 氏から、災害時の注意点や日頃からの防災対策について、ご自身が阪神・淡路大震災の際に救出支援を行なった経験を踏まえて、アドバイスをいただきました。

その後、「地震、その時どうする？～もしもの際への備え～」と題した阪神・淡路大震災に関するビデオを視聴した後、実際にビル内に煙が立ち込めた状況を想定し、避難誘導灯に従って退出するという煙体験や訓練用消火器を使用した消火体験を参加者自らが体感しました。

また、過去の被災地復旧の写真や災害備蓄品等の展示物を見たり、実際に触れることにより、防災に対する意識をより一層高めることができました。

今回の学習会ならびに体験を通じて得られたさまざまな気づきを、今後、各組織にも水平展開し、「防災・減災」のさらなる意識醸成につなげたいと思います。

松山市防災センター 菅谷 氏あいさつ

訓練用消火器で消火体験

展示物の説明を受ける参加者

防災センター内を見学する様子

連合愛媛 10月の予定

4～6日	2018連合愛媛役員研修「国際交流視察」
23～24日	JILAF若手労働組合役員招へい事業（アフリカ英語圏チーム）
25日	連合愛媛第６回執行委員会・第６回地協代表者合同会議

ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）世界行動デー

10月7日は「ディーセント・ワーク世界行動デー」

連合を含む世界163ヵ国・地域の1億8,100万人の労働者が結集するITUC（国際労働組合総連合）は、「公正なグローバル化を通じた、持続可能な社会」をめざして、**毎年10月7日を「ディーセント・ワーク世界行動デー」と定め、世界中で一斉行動を呼びかけています。**

ディーセント・ワーク？働きがいのある人間らしい仕事？

ディーセント・ワークという言葉は、1999年の第87回ILO総会において初めて用いられたもので、ILOの活動の主目標と位置づけられました。
ILOはディーセント・ワークとは、**「権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事で、全ての人が収入を得るのに十分な仕事があること」と定義しています。**

国際労働機関（ILO）とは？

ILOは、第一次世界大戦の悲惨な戦禍への反省として、**労働問題を解決することが世界の平和につながるという強い信念から1919年に結成されました。**
国連機関の中で唯一、政府、使用者、労働者の代表からなる三者構成の原則をとり、毎年6月にはスイス・ジュネーブで総会を開催し、政労使で重要な社会・労働問題について討議しています。
連合は日本の労働者を代表する組織として、ILOに積極的に参加しています。

「ディーセント・ワーク」を実現するため、「働くことを軸とする安心社会」実現のための連合の取り組み

連合、なにかセント

ディーセント・ワークとは 権利が保障される仕事

- 安心して働き続けられるための**労働者保護ルールの堅持・強化！**
- 労働者の健康・安全の確保のための**労働時間の見直し！**
- 雇用における**男女平等と女性活躍の推進！**
- **ワークライフバランス社会**の早期実現！

連合、なにかセント

ディーセント・ワークとは 十分な収入を生み出す仕事

- 適正な水準への**最低賃金の早期引き上げと監督行政の強化！**
- **格差・貧困の解消**に向けた政策の推進！

連合、なにかセント

ディーセント・ワークとは 適切な社会的保護が与えられる仕事

- 持続可能な**社会保障改革の推進！**
- 失業から良質な雇用に早期に復帰・移行できる**セーフティネットの構築および拡充！**
- 『全世代支援型』**社会保障制度のさらなる推進！**

連合、なにかセント

ディーセント・ワークとは 十分な仕事があること

- 若年者、高齢者、障がい者の**雇用対策の強化！**
- ディーセント・ワークを中心に据えた**雇用の拡大と雇用の質の回復！**
- 派遣労働者の**雇用安定や処遇改善の強化！**

「2018トーチラン inえひめ」に参加
（中予・今治地協中予支部）

９月２日（日）に松山城山公園と周辺において、「2018トーチランinえひめ」が開催され、連合愛媛中予・今治地協中予支部役員と組合員の20名が参加しました。

今年度は、９月22～24日に開催される知的障がい者のスポーツ大会「第７回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」を前に、愛媛県代表アスリートの活躍を願うことを目的に開催されました。開会式では、弓立会長（連合愛媛）も参加し、アスリートの皆さんに激励を送りました。連合愛媛は**スペシャルオリンピックス**の活動に協力団体として登録しており、中予・今治地協中予支部が、トーチランの趣旨に賛同し、当日は伴走者としてボランティア参加しました。伴走者として与えられた第３区（松山城ロープウェイ乗り場北→平和通り西一万交差点西）の間、トーチを持つランナーに「GO！GO！トーチラン　みんなでGO！」の掛け声と温かい声援を送りながら、次の区間に引き継ぎました。松山城山公園を出発し、松山城を囲む道路約4.2㎞を９区間に分かれて、トーチをつないで走ったランナーも、参加者全員の温かい拍手の中、笑顔でゴールしました。最後に、閉会式と壮行会が開催され、愛媛県代表として参加される12名のアスリートに参加者全員でエールを送り、終了しました。

スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人たちに、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、家族や他のアスリート、地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供している国際的なスポーツ組織です。
※スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障がいのある人たちをアスリートと呼んでいます。

ランナーの伴走をする様子

温かい拍手の中、ゴール！